

平成 2 9 年 度
国・県に対する要望事項



平成 2 8 年 6 月

本市の行政運営につきましては、日ごろより格別のご配慮をいただき、厚くお礼申し上げます。

特に、昨年度の要望に対しましては、主要地方道常盤峰浜線の冬期交通安全対策等にご尽力いただき誠にありがとうございました。

さて、本市においては、風力発電を中心とした「エネルギーのまちづくり」や、能代火力発電所3号機の建設着工、「道の駅ふたつ」の重点道の駅選定、「白神ねぎ」を始めとする基幹産業の奮闘等、官民協働によるまちづくりの機運が今まさに高まっております。市ではこのチャンスを活かすべく、大きく歩みを進め、感謝と思いやりにあふれる「“わ”のまち能代」の実現に、全力を傾注しているところであります。しかしながら、全体として見ると地域の経済状況は依然として厳しい状況にあり、新たな業興しと雇用の確保が急務となっております。

この要望事項は、本市の特性を活かした再生可能エネルギーへの取り組みと合わせ、能代港や高速道路等の社会基盤を活かした新たな産業、雇用の創出等に必要なものであります。また、市民が安全・安心に生活できる環境を維持するうえでも大変重要な事項であると考えております。

何卒、本市の事情をご賢察いただき、平成29年度の予算編成及び今後の施策展開に取り入れてくださるようよろしくお願い申し上げます。

平成28年6月

能代市長 齊 藤 滋 宣

要 望 事 項 一 覧

1. 再生可能エネルギー導入のための送電網整備の早期実現について
……〔 継 続 〕
2. 能代港を活用した地域振興について
……〔 継 続 〕
3. 「風の松原」等松林保全のための松くい虫対策について
……〔 継 続 〕
4. 日本海沿岸東北自動車道の早期完成について
……〔 継 続 〕
5. 県管理道路の整備促進について
……〔 継 続 〕

再生可能エネルギー導入のための送電網整備の早期実現について

再生可能エネルギーの普及促進が加速されている中で、秋田県沿岸地域においては、その風況の良さから、国内有数の風力発電の適地として陸上風力発電の導入が進んでおります。

さらに、秋田県では秋田港・能代港における洋上風力発電事業者が選定され、調査事業が始まっているほか、沖合洋上風力発電も環境アセスメントに着手されており、各風力発電事業体からも注目されているところであります。

このように本地域は、風力発電の大きなポテンシャルを持っていますが、送電網が弱いことが導入の支障となっており、これを克服することが大きな課題であります。

大規模風力発電施設の整備を推進し、地域の活性化を図っていくために、次の事項について、引き続き、国の責任において取り組まれるよう要望します。

・秋田県沿岸地域の送電網の整備・増強の早期実現



〔 継 続 〕

建設部 港湾空港課

産業労働部 産業集積課、資源エネルギー産業課、産業政策課

能代港を活用した地域振興について

本市では、県北部地域の行政、産業団体、企業等が参画する能代港湾振興会とともに、能代港の利活用を地域経済の振興につなげる様々な活動を行っていますところであります。

能代港は、エネルギー供給の拠点であり、平成18年にはリサイクルポートの指定を受け、秋田県北部エコタウン計画との連携による地域経済活性化の核となる役割が期待されております。しかし、リサイクルポートにおける循環資源取扱いに関する規制については緩和措置等がなく、リサイクルポート間の廃棄物の取扱いについて簡素化を図る必要があると考えます。

また、現在、能代港にはコンテナ荷役施設がなく、能代港背後圏の木材工場は秋田港の利用を余儀なくされ、陸上運送のコストが大きな負担になっており、これを低減し、地場産業を育成するためにも能代港の荷役設備等の機能強化と利便性の向上が必要と考えます。

さらに、港湾区域での風力発電によるエネルギー供給基地となるポテンシャルを有しており、風力発電設備の積降港としてのニーズも高まっております。

能代港を十分に利活用し、地域経済の活性化につなげ、さらには、我が国経済の国際競争力向上に貢献するため、下記の事項について要望します。

1. 港湾機能の強化と利便性向上

- ・防波堤整備による静穏度の改善
- ・岸壁の耐震化と強度の向上及び荷役施設の整備

2. リサイクルポートとしての機能発揮

- ・循環資源の取扱いに関する法規制等の緩和・特区の設定
- ・リサイクル関連企業の誘致活動への支援



【市担当部課 環境産業部 商工港湾課】

〔 継 続 〕

農林水産部 森林整備課

「風の松原」等松林保全のための松くい虫対策について

本市には、多くの松林や名木・古木が現存しており、中でも強風による飛砂から街や農地を守るため、藩政時代から300年にわたり植栽されてきた「風の松原」は、能代を象徴する文化遺産であるとともに、「かおり風景100選（環境省）」等の権威ある6つの100選に選ばれるなど、やすらぎの空間としても広く市民や観光客に親しまれております。

「風の松原」の松くい虫対策については、国・県・市が連携しながら伐倒駆除、薬剤散布、樹幹注入等の対策を講じてまいりましたが、中核部分の被害が拡大したことに伴い、平成

17年度から「松くい虫被害先端地域特別対策事業」により国費100パーセントで徹底した対策に取り組んでいただいております。

被害量は平成14年度をピークに減少傾向にありましたが、平成21年度からは隣接する自治体も含め再び増加に転じており、「風の松原」の保全を図るためにも事業の継続が必要であります。こうしたことから、次の事項について要望します。

1. 松くい虫被害先端地域特別対策事業の継続及び予算の拡充
2. 松くい虫被害防除の抜本的な対策と新たな防除方法の確立

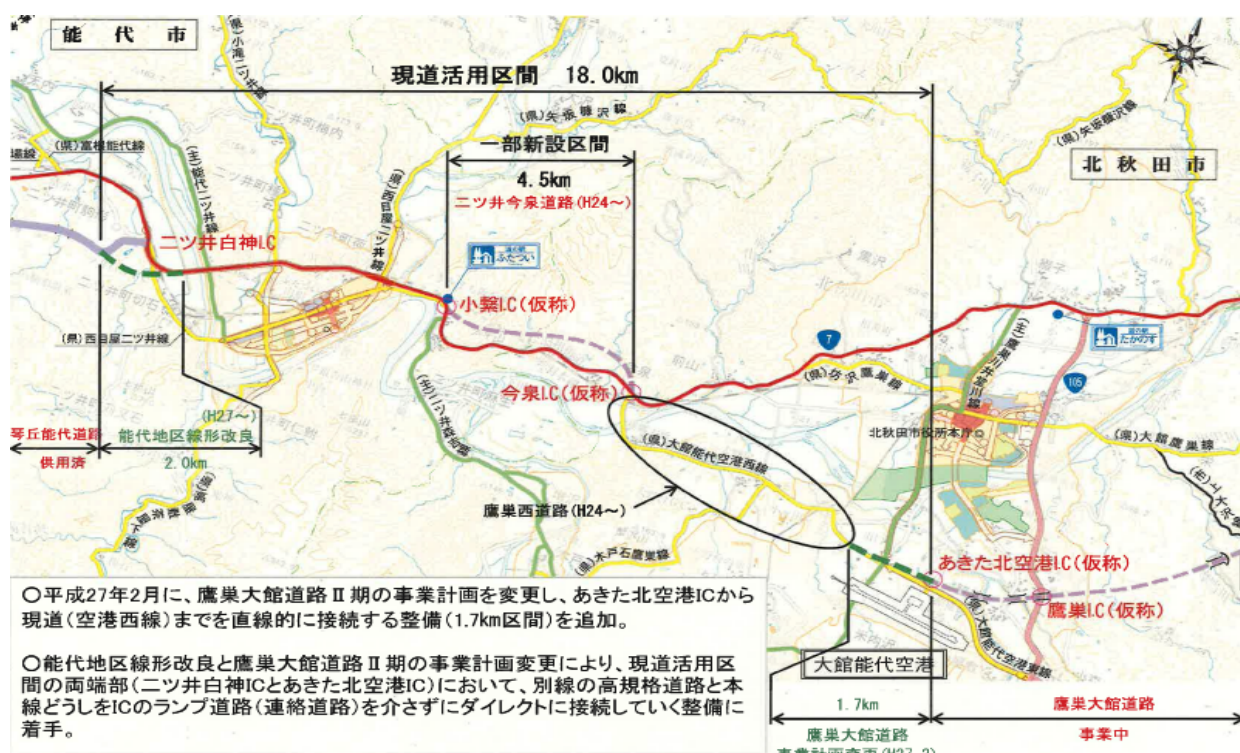


（風の松原を守る市民ボランティア大会へ市民約700人が参加した清掃活動の様子）

建設部 道路課

日本海沿岸東北自動車道の早期完成について

日本海沿岸東北自動車道二ツ井白神IC からあきた北空港 I C（仮称）間の整備については、早期に高速交通ネットワーク形成が図られるよう、平成24年度より事業着手いただいている「二ツ井今泉道路」と「鷹巣西道路」の整備促進に加え、平成27年度より事業着手された二ツ井白神 I C から小繫 I C（仮称）間についても整備促進いただき早期に全線開通されるよう引き続き要望します。



【市担当部課 都市整備部 道路河川課】

〔 継 続 〕

建設部 道路課

県管理道路の整備促進について

国道101号は、能代市と八峰町、青森県を結ぶ幹線道路であり、通勤・地域間交流・物流・救命救急を担う唯一の国道であります。竹生天神前の急カーブが円滑な通行に支障をきたしている状況となっております。地域住民の安全を確保するため、平成28年度着手いただきました「竹生バイパス」については早期に完成されるよう要望いたします。

県道西目屋二ツ井線は、能代市と藤里町を繋ぐ重要な生活道路であり、特に救急搬送路として主要な路線となっております。また、地域防災の機能強化、白神山地へのアクセス向上など、地域経済の活性化を図るため「荷上場バイパス」を早期に完成されるよう要望いたします。

- ・ 竹生バイパスの整備促進について
- ・ 荷上場バイパスの早期完成について



